



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会  
202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504 Fax: (310) 323-6737

3月号会報

2013年(平成25年) 3月 1日(金)

NO. 139

## ロスに寄せて

倫理研究所 吉川和儀

この度の倫理研究所「南カリフォルニア倫理の会」への出張では、地元皆様のホスピタリティ溢れる対応、また日本から海を隔て遠く離れた異国の地において、日本の誇る美德の集大成とも言える「純粋倫理」を、本国日本以上に実践・普及に奔走される方々との出会いは、私にとって大きな財産であり、今後私が倫理運動に携わるにあたり、欠け替えの無い示唆を頂くこととなりました。

文化や風習の違いはあるものの、いよいよ明るく朗らかに、川田薫会長を中心に雄々しく歩まれますことを、切に願っております。

今回は「経営セミナー」も組まれ、初参加の方々も居られる中、「経営」と「倫理」について話しをさせて頂き、ご質問も頂戴しました。ご参加の方々が何かしらお役に立てて頂ければ有り難く思います。

また、朝の集いでは三名の方々に第十三条「反始慎終」に因んだ実践報告をして頂

き、それぞれに味のあるお話しで、とても印象深いものでした。

私事ですすが皆様のもとへ伺う二週間程前のことでした。昨年十一月脳梗塞で倒れて、そのまま意識を失くした状態にあった父親が息をひきとりました。既に母は十三年前に他界しており、初めて喪主として、父の葬儀を執り行いました。倒れた当初、医師から「厳しい状況ですので覚悟を」と告げられておりました。が、年末年始を乗り越え、また私が今回の出張へ思い切つて行けるように配慮し、私の国内出張の合間である一月末を選んで逝ってくれたのだと思います。

そうした状況での第十三条「反始慎終」でしたので、両親の恩、また研究員としての「初心」を今一度確認させられる思いで、今回の日程を過ぎさせて頂き、私自身が沢山の学びを頂きました。

皆様におかれましては、今後もお元気に倫理実践に勤しまれ、倫理研究所「U」が益々地域に無くてはならない存在として発展されますよう、遠く日本より自らも倫理実践に

励みつつ祈っております。今回のご縁を頂き、本当にありがとうございました。

## 経営セミナー

### 「社風の源」

二月十七日(日) 十時半より倫理オフィスにて、吉川和儀・法人局普及事業部次席による経営セミナー「社風の源」が開かれた。

「経営」とは、中国の古い二つの言葉からなり、「経」は、時代や状況に左右されない精神的な理念を意味する縦軸、「営」は時代と共に変化する業や手段の意で横軸。この二つが上手く交わり経営が成り立つ。経営を倫理の考えに則して考えるのが「倫理経営」である。

企業と社会との間には、因果律の法則があり、企業が社会(顧客、コミュニティ)に対し、喜んで頂ける仕事を提供して行けば、金銭、信頼、信用を得られる。逆に、相手を悲しませたり裏切るような経営をしていると、順調であった企業も崩れて行く。「トップは北極星になれ」と呼びかける、倒産者の復活の為の会、八起会の調査による

と、企業倒産の原因の三位に「経営者の事業目的、目標、計画性の欠如」、二位に「社員教育の不備、欠如」、第一位には、「経営者の高慢、経営能力の過信」があげられている。また、よき社風作りの例として、会社の方向性を定めた社訓を徹底させ、経営者が従業員の上にプロ意識を持たせる言葉かけを行なうことで、仕事に誇りと喜びを持つて働く社員が育ったという運送グループが紹介された。

トップの実践として、1、挨拶をする 2、返事をする 3、後始末をする 4、希望を持つ 5、初心を忘れずに継続する 6、約束を守るの六項目を揚げ、中でも六番の約束については、「先約優先」を明るく朗らかにこなし、身近な人、また自分自身との約束をきちんと守りながら、ぶれない経営者になりましょうと、結ばれた。

質疑応答では、「部下から挨拶が返ってこない」という女性に対し、「その方の名前を呼んでから、明るい挨拶を気長に続けましょう」との答えに、女性の顔が明るんだ。他にも充実した質問が相次い

だ後、セミナーは終了した。

（出席者 四十九名、  
内・非会員十四名）

（草野律子記）

## 会員勉強会

二月十六日（土）午前十時から十一時半まで、吉川和儀次席を迎え、倫理勉強会を行った。

吉川先生はまず、ご自分の紹介をされた。ご両親が倫理を学んでおられたので小さい頃からなじみはあったが、倫理に背を向けていた頃もあった。就職したのはバブルが盛んな時。しかしバブルが崩壊すると手の裏を返すような人の心の変化を知り「倫理経営」に気づかされた。それが研究所に入所した動機である。

倫理は堅苦しいものではなくて日常に生きているもの。倫理と実生活に垣根を作ってはならない。倫理は実生活に根ざした実践であるということをお父様ご逝去というご自分の体験から説明された。

『葉』の「序」について、「序」の部分は三段になっていて、第一段は「苦難はインフォメーション

ョンと受け取れば怖くなくなる」。

第二段は「倫理とは生活の筋道」。第三段は創始者、丸山敏雄の信念が述べてあると説明。

倫理は日常の実践が一番大事である。日常生活がいい加減で事業は上手くいくなど、あるわけがない。

『葉』の九頁にある明朗、愛和、喜働、この中で一番の軸は「明朗」である。『葉』六十一頁「朗らかな人の心は、世のくもりを照らす光である。明朗は、万善のもとであり、健康の朝光である。」

「誓いの言葉」の「今日一日 朗らかに 安らかに 喜んで 進んで 働きます」この言葉は心の状態を表している、明朗が一番大事ですと話され、明朗に心を切り替えることで事業が伸びた法人会会員の例をあげて講義をされた。

「明朗、実践」という倫理のポイントを知り、妥協のない己の実践が全てであるということをお父様ご逝去というご自分の体験から説明された。

（参加者 十二名）  
（ホン史子記）

## 朝の講話

二月十七日（日）モーニングミクサーに吉川和儀次席普及事業部次席を迎え、会員三人の実践報告の後、講話を頂いた。

言葉で伝えたいと思ってもなかなか出来ないことがある。それはなぜか。「我」があるから。過去と他人は変えることが出来ない。他人のことを思い煩っても何も変わらないが、自分を変えられる。過去があつて現在があるのだから、現在を努力すれば未来は変えられる。実践をし、実践報告をすることで自分の心を整理することが出来る。週一回、お互いに勇気づけ励まし合う場としてこのミクサーがある。

今日のテーマは「反始慎終」。木に一を加えると本になり、末になる。木の本である根っこへの栄養が一番大事である。

『葉』九十頁「開店の日のいきごみと、友人のよせられた厚意を忘れるから、少しの困難にも、気をくじかせる。皆本を忘れるからである」の箇所は、毎日、自分を振り返ることの必要性を

説いている。

『葉』九十一頁「世に、「恩を忘るな」ということがやかましく言われるのは、本を忘れるなどという意味である。このことを思うと、世のために尽くさずにはおられぬ。人のために働かずにはおられない。自分は自分が自覚することを説くとして、先生の地元で良く知っている松坂大輔選手の例を取り、親の深い愛情を自覚し、自分のためではなく両親のために感謝して励んだ結果、メジャーリーグで活躍することになったと、感謝は最大の気力である、と結ばれた。はっきりした大きな声に聞き惚れ、内容に感動し、親、祖先への感謝の気持ちが深まる講話であった。

（参加者三十三名）  
（ホン史子記）



## 懇親会

二月十七日(日)十二時半より  
倫理オフィスに於いて吉川和儀  
次席をお囲みし懇親会を行いました。

今回は中華料理をメインとし  
何時ものように思い思いの自慢  
の手料理を持ち寄りしました。川  
田薫会長の挨拶、乾杯の音頭で  
昼食が始まりました。各テーブル  
それぞれの話が楽しいので  
しよう、笑い声が此所彼所より  
聞こえてき、賑やかなことでし  
た。ウエルカムと書かれたケー  
キを前に吉川次席の笑顔の写真  
を撮り、川田会長より感謝の印  
として御礼の粗品を贈呈しまし  
た。

今回は十時半より十二時まで  
行った倫理セミナーに参加いた  
だいた方にもお声をかけ昼食を  
共にして頂き、倫理の集いの和  
やかな雰囲気を感じ取っていた  
だけたのだとは思いい嬉しい事  
でした。

(出席者三十七名)

(梅本和子記)



## 実践報告

三班 大竹

信雄

最近の携帯電話には小型コンピ  
ューターが入っています。倫理のお  
茶の時間に氏家さんへ贈るイーメ  
ール住所をアイフォーンで下手な  
手つきでタイプしていたら、そばで  
見ていた矢崎さんが「縦に持たな  
いで横にして持つと画面と字が大  
きくなる」と言ってくれました。そ  
して数分前に撮った桜の写真をイ  
ーメールに添付して送る方法がよ  
く分からなくてまごまごしている  
と、梅本さんが慣れた手つきで軽  
く二つ三つのキーを押したら簡単  
に送れました。

あまり使わないことと自分の  
知らなさすぎを反省して、近くの  
アップル社の小売店に行き、毎時  
間開いている無料講習会に参加し  
ました。あんなこと、こんなこと  
ができるなどとビックリ仰天の連続  
でした。

そのことを朝の実践報告で読  
み書きだけでなく、日本語アクセ  
ントの英語発音でも質疑応答して  
くれることを実践報告した直後  
のお茶のときに、ミセス尾崎さん

よと教えてくれました。わたく  
しはまたビックリしました。

倫理の教えは【実際に言うこ  
と】に意義があることを強調して  
ます。勉強だけでは不十分で  
す。さらに、気づいたらすぐ行  
うことを実行してくださった方  
々、つまり教えてくださった倫理  
の方々様、有難うございました。

## 佐藤乃布子さん訪会

広島県倫理法人会事務長の  
佐藤乃布子さんが今年も当倫  
理の会に、息子さんと共に参  
加して下さいました。本当にう  
れしいことです。

今回の訪米の目的の一つが  
ゴルフアークの「タイガーウッズ  
に会うこと」だったそうです。  
サンディエゴのトーナメント  
で目の前でタイガーを見、夢が  
かなった感動をおっしゃる笑  
顔の素敵なこと。

今回はどんなお話しが聞け  
るでしょうか。楽しみです。

## 生活相談

長女のこと吉川和儀先生  
にご相談をしました。先生は

「大丈夫です」と心強くおし  
やって下さって、一枚のプリン  
トを下さいました。読むほどに  
心が温かくなりますのでご紹介  
いたします。

母から生まれ、母に抱かれ、  
母に育まれ、母に教えられ、母  
に喜ばれ、母に叱られ、母に心  
配せられて、大きくなるのが子  
供です。それですから、子供に  
とって母は、最初であり、第一  
であり、すべてであります。(中  
略)

子供が家に帰ると、第一に母  
を呼びます。母の姿が見えない  
と、さがします。泣き出します。  
子供にとっては、家は母であり、  
国は母であります。母の居ない  
家は空家であり、母の居ない国  
は外国であります。

人は苦難に出会うと母を呼び  
ます。(中略)

母を呼ぶのは、己のもとに帰  
ること、己に帰ることであり、  
己を母に見出し、母を吾をつか  
むのです。子供にとって母は、  
自分であり、また神(仏)であ  
ります。

『丸山敏雄全集』第二十四巻・520頁

おめでとうございます

しきなみ二月号

入選 草野律子 郡蛍集（東京・海外）

入選 門園美枝子 々々

入選 摺木洋子 真砂集（西東京・海外）

三席 杉野和子 飛雲集（西東京・海外）

秋津書道 二月号 競書

入選 滝川政和 人の部（東京）

入選 梅本豊造 高等部 々々

一席 咲田静子 一般部（東京東部） 草書

入選 羽島照子 々々

入選 榊中恵美子 々々

入選 小倉治美 々々



2席 南カリフォルニア 梅本 豊造



1席 南カリフォルニア 滝川 政和

「今日」と「明日」の強調が効いている。余白に美しさがある。

調和体

人の部

一席

滝川政和

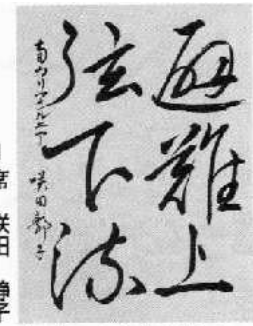
高等部

二席

梅本豊造

競書 一般部 草書

一席 咲田 静子



1席 咲田 静子

伸びやかな線が美しい堂々たる作品です。

矢口先生と会員親睦会

四月五日〜八日、文化部の矢口裕司先生のご出張があります。その時は吟行会を兼ねた倫理会員親睦会を行いますので、今から save the date をしておいでください。

バス小旅行に適当な場所がありましたら是非、お知らせください。皆で楽しい一日を過ごしましょう。

しきなみ短歌

太陽は山の峠で待っている急げや急げ日の出の時刻 摺木洋子  
太陽を見上げて心温めて力いっぱい歩き出す夫 松元依子  
来賓のバラつけられし母の手を引いて母校の記念式典 大川敏子

新年号の半折課題に夫は早や書いてはぶらさげ構想練るらし 滝川歌子

新年に健康ねがう我が身なり家族の絆深まる初日 奥本洋子

久に降る雨に洗われし山茶花は紅色増して花びら散らす 杉野和子

師走には日系マートにラインアップ英語の飛び交うおせちのレシピー 長谷川松子

しわ深き姑の笑顔の続くようありとあらゆる神に祈らん 塩出笑子

亡き友の笑顔うかびてはげまざる淋しさつのる今日この頃を 橘高比呂美

頂点に立ちて尚さら謙虚なる浅田真央は氷上の華 伊澤潤子

クリスマスにフェラーリ欲しいと七歳の孫は長所を親に説明 梅本豊造

古里の友より届くギフト解くその一瞬は我は幼に 梅本和子

冷えびえし夜更けの厨に蟋蟀のおぼおぼと鳴く命の声聞く 門園美枝子

見つめいるさむき夜空に幾筋か金の尾を引くふたご座流星群 ホン史子

母親のまなざし受ける孫の顔写真の中の親子愛しも 松永典子

明け方にともり始める窓の灯のひとつひとつに今日が始まる 草野律子

白色を極める如く咲きにける目にも眩しき利休の梅は 伊勢田豊

大川の児童に届けと手を合わす無念の思いなくならないのに 矢口裕司